



廿日市市立佐伯中学校 令和7年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

8月号 (No.13)

令和7年

8月27日 (水)

夢の実現に向けて

1学期の終業式で、「夏休みのうちに家族や親せきの人へ将来のことについて自分の考えを伝えてみましょう。」と話しましたが、できたでしょうか。家族や親せきへ伝えるタイミングが難しく、できなかった生徒もいたかもしれません。もし話ができなかったとしても、機会は今後もあるので、家族の方と将来のことについて話をしてみましょう。

さて、これまでも“夢の実現”について様々な場面で、私から皆さんへ話をしたり、講師の方が実際に佐伯中へ来て話をしてくださったりしました。今回は私の教え子の話です。

15年前、私が県立広島中学校に勤務していた時に、サッカーの得意な生徒が二人いました。二人ともサッカー選手になるという夢が捨てきれず、中高一貫校からあえてサッカーの強豪校である県立広島皆実高校を受検するかどうかが悩んでいました。先生たちは「せっかく合格して入学した中高一貫校から改めて高校を受けなおすのはリスクがあるし、たとえ入学したとしてもそこで活躍していくのは至難の業ではないか。」と何度も面談しました。それでも、彼らは「後悔したくない。」という強い意志を変えず、保護者と十分相談した結果、その高校を受検することになりました。

二人とも見事に合格してその高校へ入学し、念願のサッカー部に入りました。激しい競争があったかと思いますが、選手として念願の全国大会にも出場しました。そのうちの一人が“丸川大誠さん”です。

高校卒業後、一人は横浜国立大学へ、丸川大誠さんは中央大学へ進学しサッカーを続けました。丸川さんは2013年、国民体育大会の広島県選抜メンバーに選出されました。

その後、イタリアの南にあるマルタ共和国のサッカーチームや、北欧のラトビア共和国のサッカーチームに所属し、2021-22シーズンの最優秀選手に選ばれました。さらにその後はインドネシアに渡り、今でも現役の選手として活躍しています。インスタグラムのフォロワーは36万人を超えています。(写真はすべてご本人から提供していただきました。)



丸川選手に連絡を取ってみると、しばらく帰国の予定は無いそうで、残念ながら佐伯中に来てもらうことはできません。そこで、彼から佐伯中の生徒の皆さんにメッセージをいただいていますので、それを紹介します。

佐伯中学校の生徒の皆さんへ

皆さんには今どんな夢がありますか？

「サッカー選手になりたい」「学校の先生になりたい」「とにかく有名になりたい」など、夢は人それぞれあるし、まだはっきり見えていない人もいるかもしれません。それでも大丈夫です。皆さんはまだ若くて無限の可能性を秘めています。

先生から紹介があったと思いますが、私自身も当時自分の夢を追いかけて、引かれた人生のレールを自ら外れ、挑戦を選んだ過去があります。それなりに成功した今、もちろん後悔はありませんが、もし仮に成功していなくても、後悔をしていない自信があります。それはなぜなのか。その秘密は『自らの選んだ道を成功にする』これだけです。これからのあなたの人生において選択を迫られる場面は山ほど訪れます。どここの高校に進学するか、何を学ぶか、何を仕事にしていくか。数えきれないほど選択をしていかなければならないのです。その選択において正解などありません。その選択を成功にするために努力をして、仮に失敗してもそこから学び、また挑戦をする。そうすることでその選択が自ずと成功になると私は思っています。

県立広島中学校からサッカー選手が生まれるなんて当時誰も想像していなかったと思います。人生は一回です。皆さんには周りの目や失敗を恐れず、自分の心に従って色々な挑戦をして欲しいと思います。その挑戦は最終的に必ず成功すると私は信じています。

丸川 大誠



インドネシアは日本と友好的な国で、日本との時差は約2時間です。日本からは飛行機で約8時間かかる位置にある国です。サッカーも盛んで、熱狂的なファンも多いですね。

生徒の皆さんは、メッセージを読んでどんな気持ちをもちましたか。「挑戦」することは簡単ではありませんが、5年後、10年後の自分の姿を想像して、中学生のうちに何をすべきか考えてみましょう。もし、心配なことや、相談したいことがあれば、担任の先生や周りの先生方にいつでも話をしてください。